



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月14日

上場会社名 大和自動車交通株式会社  
 コード番号 9082 URL <https://www.daiwaj.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-5579-5906

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,172	46.3	1,085		922		372	
2020年3月期第1四半期	4,046	3.1	71	38.6	71	44.3	774	834.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 334百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 770百万円 (684.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	88.89	
2020年3月期第1四半期	187.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	23,279	8,507	36.4
2020年3月期	23,035	8,858	38.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 8,462百万円 2020年3月期 8,815百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		8.00		4.00	12.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期の第2四半期末配当金の内訳  
 普通配当 4円00銭 記念配当 4円00銭

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を適正かつ合理的に算定することが困難なことから、未定とさせていただきます。今後、連結業績の合理的な予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。なお、詳細につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1 社 (社名) 株式会社丸井自動車、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	5,250,000 株	2020年3月期	5,250,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,040,625 株	2020年3月期	1,072,325 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	4,185,350 株	2020年3月期1Q	4,130,969 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、社会経済活動の停滞や国内消費の急激な落ち込みが見られ、極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループにおいては、お客様や従業員の安全を再優先に考え、新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限留意しながら、将来のモビリティのサービス化(MaaS)や自動運転分野の更なる発展による事業構造の大きな変化の流れに対応して行くため、3ヶ年中期経営計画「中期経営計画2021」の第2期目を推進しております。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、主要事業である旅客運送において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う外出自粛等により利用客が大幅に減少したため、売上高2,172百万円(前年同期比46.3%減)、営業損失1,085百万円(前年同期は営業利益71百万円)、経常損失922百万円(前年同期は経常利益71百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失372百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益774百万円)となりました。

なお、2020年4月に賃貸ビル(テラス銀座)の引渡しを完了し、固定資産売却益536百万円を特別利益に計上いたしました。

また、株式会社丸井自動車の全株式を取得し、当第1四半期連結累計期間より連結子会社といたしました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

#### ①旅客自動車運送事業

タクシー部門では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用客の大幅な減少や、2020年4月16日よりタクシー部門で実施した概ね50%程度の計画供給調整(稼動タクシー車両台数の減少)の影響により、全タクシー子会社7社の売上高795百万円(前年同期比66.5%減)となりました。当第1四半期におきましても、当グループの課題である乗務員不足解消の施策として、積極的な採用活動を展開し、接客やマナーの教育・訓練を十分に施すことで適性のある良い人材の強化に努めております。また、事前確定運賃サービスや需要予測サービス等、お客様の利便性向上を図る配車アプリ「S.RIDE」のサービスにも引き続き注力しており、そのサービス提供の地域を多摩地区にまで拡大させております。前期に導入しました後部座席タブレット端末やI Pタブレット端末による電子決済サービスに加え、今期はQRコードによる決済サービスも導入いたしました。新たな事業展開としましては、規制緩和を受けて貨物有償運送(フードデリバリー)許可申請を行い、フードデリバリーサービスを開始いたしました。また、新型コロナウイルス禍における行動自粛からくるお客様のストレス軽減と安心安全な旅行ニーズへのお役立ちとして、株式会社共立メンテナンスと提携し、同社のリゾートホテル事業「共立リゾート」とタイアップしたタクシー往復送迎付き宿泊プラン「自宅からリゾート直幸往復便」を2020年6月より開始いたしました。このプランは、新型コロナウイルス感染症対策を万全にしたタクシーを用いて、自宅玄関前から新型コロナウイルス感染症対策を万全にした宿泊施設までをDoor to Doorで結ぶことで、他者との接触を最小限にし、安全・安心に癒し・安らぎを届けるプレミアムな旅をリーズナブルな価格でお客様に提供しております。そして引き続き、外国人のお客様対応を目的とした多言語音声翻訳システム実証実験、交通事業者としてモビリティのサービス化(MaaS)や自動運転分野の実証実験へ積極的に参画し、異業種や大学等の学術機関との連携を深めることで、新たな移動サービスの提供の実現に努めております。輸送の安全確保面では、前期に引き続き先進安全機能が搭載されたトヨタJPN-TAXI車両の導入を推進し、追突や接触事故等の有責事故件数の減少に寄与いたしました。

ハイヤー部門では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、お客様におけるテレワーク化が進んだことで需要が低下し、売上高520百万円(前年同期比23.9%減)となりました。経費面では、新規入社乗務員募集費や採用乗務員研修費等が前期に続き増加いたしましたが、駐車場や事務所賃料の値下げ交渉を行い、経費支出の圧縮により、利益率の改善・向上に努めてまいりました。営業面では、お客様の新型コロナウイルス感染防止対策として通勤時のハイヤー利用を積極的にセールスした結果、新規顧客を獲得することができました。福祉輸送部門においては、前期に導入した福祉児童送迎配車アプリ「together」の積極的な運用や、新型コロナウイルス感染予防対策として福祉車両に換気のためのサイドバイザー(車の窓ガラス上部を覆う樹脂製カバー)装着等を実施いたしました。また、乗務員不足の課題解決のため、「doda」「イーキャリア」等の求人媒体に乗務員インタビューを掲載する等の採用募集を積極的に行い、また、新人乗務員指導係の増員で、乗務員未経験者に対する教育体制も更に充実させました。

以上の結果、タクシー部門とハイヤー部門等の旅客自動車運送事業売上高1,316百万円(前年同期比56.9%減)、営業損失1,071百万円(前年同期は営業利益33百万円)となりました。旅客自動車運送部門の最重要課題である乗務員確保、高齢化社会の到来に伴い多様化する生活サポート・福祉関連ニーズの高まりに応えるため、大和グループの総力を挙げ、「安心・安全、おもてなし」の更なる向上に努めてまいります。

## ②不動産事業

不動産事業では、引き続きテナントの要望に沿った施設の改善と当社基準の品質管理の徹底に努め、事業収益の増強に取り組んでおります。大手仲介不動産会社や各物件所在地元不動産会社と継続して積極的な情報交換を行うことにより、オフィスビル、マンション系ともに高い稼働率を維持しておりますが、賃貸ビル（テラス銀座）の売却により賃貸収入売上が減少いたしました。

以上の結果、不動産事業の売上高225百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益145百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

## ③販売事業

自動車燃料販売部門では、売上高の減少抑制のため、既存スタンドにおいて新型コロナウイルス感染症対策用品配布等の販売促進キャンペーンを実施するとともに、より一層のきめ細かいサービスの提供を推進する等、顧客営業を強化しております。しかしながら新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出自粛要請等による自動車燃料の需要が減少していることや、既存スタンドにおいて時短営業を余儀なくされていること等、厳しい状況が続いております。一方では、世界的な原油の供給過多状況が続いている影響で、原油価格が下落傾向にあるため、小売価格の見直し等を行うことで営業利益の確保に努めてまいりました。

金属製品製造販売部門では、安定的な収益基盤を確立するため、高利益率の見込める特注品等の受注生産を積極的に展開しております。共同出資企業のベトナム工場の生産高は堅調に推移しておりますが、前期より続く住宅の建設面積の縮小傾向は止まらず、主力商品である標準階段の生産高が減少しました。

以上の結果、販売事業売上高630百万円（前年同期比16.6%減）、営業損失2百万円（前年同期は営業利益8百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は23,279百万円となり、前連結会計年度末に比べ244百万円の増加となりました。これは賃貸ビル（テラス銀座）の売却があったものの、株式会社丸井自動車の子会社化により資産が増加した結果、固定資産が265百万円増加したこと等によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ596百万円増加の14,772百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が152百万円減少する等の結果、流動負債が153百万円減少したものの、長期借入金が754百万円増加する等の結果、固定負債が749百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ351百万円減少の8,507百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が396百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の38.3%から36.4%に減少しております。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大とその長期化により、先行き不透明な状況が続くものと予想しており、現時点で当社グループ業績に与える影響額を予想することは困難であると判断し、2021年3月期の業績予想は未定といたしました。今後、適正かつ合理的な連結業績予想の算出が可能となった時点で公表いたします。

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の長期化による生活様式の変化並びに新たな価値観の定着を見据え、当社グループを取り巻く事業活動の変化に柔軟に対応し、経費節減と効率的なグループ経営活動を実践してまいります。

また、新型コロナウイルスの感染拡大とその長期化の備えとして、4,100百万円の借入枠を確保し、1,000百万円を実行しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,545	1,758
受取手形及び売掛金	1,116	815
商品及び製品	73	92
仕掛品	26	14
原材料及び貯蔵品	71	62
その他	656	724
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	3,469	3,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,519	5,338
土地	10,722	10,918
その他（純額）	1,684	1,782
建設仮勘定	1	8
有形固定資産合計	17,928	18,047
無形固定資産		
その他	69	105
無形固定資産合計	69	105
投資その他の資産		
その他	1,675	1,793
貸倒引当金	△107	△115
投資その他の資産合計	1,567	1,678
固定資産合計	19,566	19,831
資産合計	23,035	23,279

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	358	206
1年内償還予定の社債	1,030	995
短期借入金	1,004	996
未払法人税等	194	184
賞与引当金	118	41
その他	1,782	1,912
流動負債合計	4,489	4,335
固定負債		
社債	674	674
長期借入金	4,601	5,355
退職給付に係る負債	810	814
資産除去債務	241	242
株式報酬引当金	53	55
その他	3,305	3,293
固定負債合計	9,686	10,436
負債合計	14,176	14,772
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	525	525
資本剰余金	10	10
利益剰余金	9,404	9,007
自己株式	△1,145	△1,138
株主資本合計	8,794	8,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	90
繰延ヘッジ損益	△28	△25
退職給付に係る調整累計額	△8	△6
その他の包括利益累計額合計	20	57
非支配株主持分	43	44
純資産合計	8,858	8,507
負債純資産合計	23,035	23,279

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	4,046	2,172
売上原価	3,661	2,923
売上総利益又は売上総損失(△)	384	△751
販売費及び一般管理費	313	333
営業利益又は営業損失(△)	71	△1,085
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	7
受取賃貸料	7	8
雇用調整助成金	-	153
その他	10	25
営業外収益合計	26	194
営業外費用		
支払利息	26	29
その他	0	2
営業外費用合計	26	31
経常利益又は経常損失(△)	71	△922
特別利益		
固定資産売却益	1,162	536
投資有価証券売却益	-	38
その他	-	5
特別利益合計	1,162	579
特別損失		
固定資産除却損	22	-
投資有価証券売却損	-	8
特別損失合計	22	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,211	△350
法人税、住民税及び事業税	208	158
法人税等調整額	230	△137
法人税等合計	439	20
四半期純利益又は四半期純損失(△)	772	△371
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	774	△372



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	772	△371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	32
繰延ヘッジ損益	△0	2
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	△1	36
四半期包括利益	770	△334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	772	△335
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	旅客自動車 運送事業	不動産 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,056	233	756	4,046	-	4,046
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	106	160	267	△267	-
計	3,056	339	917	4,313	△267	4,046
セグメント利益	33	149	8	192	△120	71

(注)1 調整額の区分は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	旅客自動車 運送事業	不動産 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,316	225	630	2,172	-	2,172
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	101	76	178	△178	-
計	1,316	326	707	2,350	△178	2,172
セグメント利益又は損失(△)	△1,071	145	△2	△928	△156	△1,085

(注)1 調整額の区分は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## (追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループの第1四半期連結会計期間における事業活動に大きな影響がでております。現状、収束時期の見通しは立っておりませんが、緊急事態宣言の解除以降は乗客数も増加傾向にあり、業績回復の兆しを見せております。当社グループの固定資産に関する減損損失の計上要否の判断、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行うにあたっては、四半期連結財務諸表作成時点で入手可能な情報に基づき、第2四半期連結会計期間以降は年度末にかけて徐々に回復していくものと仮定を置いて判断しております。

なお、上記の仮定については、前連結会計年度末と同様であり、当第1四半期連結会計期間末において見直しが必要となる重要な状況の変化は無いものと判断しております。

## (重要な後発事象)

## (多額な資金の借入)

新型コロナウイルスの感染拡大とその長期化の備えとして、運転資金を厚くし、財務基盤を強固なものとするため、以下の通り資金の借入を行っております。

借入先	日本政策金融公庫
借入人	大和物産(株)他タクシー子会社6社及びハイヤー子会社
借入額	8社合計 1,450百万円
借入金利	1,150百万円(当初3年間 0.21%、4年目以降 1.11%) 300百万円(10年間固定 1.11%)
借入期間	10年
契約日	2020年7月27日(大和物産(株)他6社)
	2020年8月7日(大和自動車交通江東(株))
実行日	2020年8月7日(大和自動車交通ハイヤー(株)他5社)
	2020年8月14日(大和自動車交通江東(株))
	2020年8月17日(大和物産(株))
担保等	無し

借入先	太陽生命保険(株)
借入人	大和自動車交通(株)
借入額	300百万円
借入金利	1.2%
借入期間	3年
契約日及び実行日	2020年8月7日
担保等	追加の担保提供無し